

「運ぶ」を軸に新たな挑戦を続ける

かぶしがいいしやしょうえいつうしょう
株式会社翔栄通商

〒482-0017 岩倉市北島町 18
TEL: 0587-84-0817
<https://shouei-t.com>



■会社概要

トラック運転手の経験がある柴田純一社長が同業の仲間に声をかけ、2008（平成 20）年に設立したのが（株）翔栄通商です。

バンゲート、平ボディー車、冷凍バン車など様々な種類のトラックを保有し、全国にある営業所を拠点に輸送を行っています。2023（令和 5）年には新しい営業倉庫「翔栄通商ロジスティクスセンター」を開設し倉庫業にも注力しています。



インターネットで注文した商品が自宅に届く。スーパーマーケットに商品が並び、日常の風景の舞台裏には必ず「物を運ぶ人」がいます。その物流を担っている会社が岩倉市にあります。

効率を考え、専門性高く運ぶ

物流業界では、たとえば愛知県から東京都までトラックで荷物を運び、戻ってくる際に何も載せていなければ商売として成り立ちません。お客様からの注文に対して、トラックをいかに効率よく稼働させるかが重要です。

北海道から九州まで全国にある営業所が輸送の依頼を受けると、その情報は本社に集約されます。オンラインの配車システムで、自社保有する140台のトラックの稼働状況を管理しており、空車に輸送業務を振り分けます。どのトラックが運ぶかは、乗務員の年齢や貨物の種類も考慮して決めています。

家電・食品・衣類・鋼材など多種多様なものを運び、貨物の内容によって載せるトラックの種類を使い分けています。例えば窓枠を運ぶためには、平ボディーという荷台に屋根がないトラックに積みます。配送先の現場でクレーンを使って高所に吊り上げる必要があるからです。一般貨物自動車運送事業のライセンスを受けているからには、ただ単に運ぶだけでは十分とは言えません。「お客様の代わりに運んでいる」という意識を常に持ち、貨物の特性について深く理解した

上で、「適切な方法で運び、お預かりした状態のままでお届けする」ことを実践しています。

新たなサービスを開拓

衣類などアパレル商品の流れを管理するアパレル物流を得意としています。コンテナからの荷卸し、入庫時の検品、サイズや種類別に分けた保管、オーダーが入った商品のピックアップ、しわ伸ばしなどの出荷作業、輸送手配まで全ての工程を、お客様からの信頼を得て行っています。

物流業界は燃料費高騰や人材不足などの課題に直面しています。しかし、そこで立ち止まることなく社会のニーズを捉え、アパレル物流など新しい分野に挑戦し、事業の幅を広げてきました。

2023（令和5）年に新設したロジスティクスセンターには倉庫や事務所に加えてレンタルオフィスも用意し、新たな顧客の利用も見込んでいます。

「現場経験のある方が社長ということもあり、社員をとて大切にしています。福利厚生や賞与にそれが反映されています。また、独立したいという気持ちがある社員は会社として積極的にサポートします。実際に、グループ会社の（株）廣



翔と（株）道翔はうちの社員が立ち上げました」と伊藤達也取締役。「挑戦を大事にする」という（株）翔栄通商の信念はここにも現れています。